

# 県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 境港総合技術高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成29年2月13日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標	
<p>(1) 個々の持つ個性、適性、可能性を最大限に開花させる。</p> <p>(2) 自主・自律の精神と、他者への思いやりを持った心の育成と創造性豊かな人格を形成する。</p> <p>(3) 自然に親しみ、地域の特性を生かして成長し、確かな知識と技術を身につけた新しい21世紀の世界を切り開く人材を育成する。</p>	
2 重点項目に係る目標	
○専門的知識や技能を身につけ、イノベーションに柔軟に対応でき、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。	
海洋科	・船舶や漁業の魅力を実習や体験をとおして理解させ、船舶・漁業関係の就職者数を増加させる。
食品・ビジネス科	・地元の基幹産業である水産業を支える人材を数多く育成し、地元就職者を増加させる。
機械科	・多くの機械実習を通して、ものづくりのすぐれた技術を習得させ、機械・自動車関連企業への就職者を増加させる。
電気電子科	・国家資格である電気工事士の資格取得者を増加させ、資格を活かした電気電子関連企業への就職者を増加させる。
福祉科	<p>・即戦力となる介護福祉士となるため、国家試験の合格を目指すとともに、福祉関連産業への就職者を増加させる。</p> <p>・地域のこども福祉を支える人材を育成し、豊かな心を持ち地域貢献できる人材を育成する。</p>
<p>&lt;数値目標&gt;</p> <p><b>【全体】</b></p> <p>(1) 各学科の専門に関連した企業に就職する割合75%以上(平成29年度71.7%、平成28年度70.2%)</p> <p>(2) 各学科の専門に関連した上級学校に進学する割合70%以上(平成29年度63.5%、平成28年度67.2%)</p> <p>(3) 各学科の専門の資格を二つ以上取得する割合80%以上(平成29年度76.2%、平成28年度74.7%)</p> <p><b>【各科】</b></p>	
海洋科	・船舶・漁業関係に50%以上就職する。(平成29年度53.6%、平成28年度40.7%)
食品・ビジネス科	・就職希望者の80%以上が食品・ビジネス科で学んだことを活かし、

	食品及びビジネス関係へ就職する。(平成29年度70%、平成28年度80.8%)
機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車整備士試験3級に90%以上合格(自動車類型)(平成29年度70.6%、平成28年度44.4%)、基礎製図検定に60%以上合格(自動車類型、機械類系)させる。(平成29年度67.6%、平成28年度31.6%)</li> <li>機械・自動車関連企業に70%以上就職する。(平成29年度65.5%、平成28年度72%)</li> </ul>
電気電子科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気工事の国家試験に50%以上合格(平成29年度53.6%、平成28年度24.4%)させ、電気電子関連企業に50%以上就職する。(平成29年度33.3%、平成28年度40.9%)</li> </ul>
福祉科	<ul style="list-style-type: none"> <li>(介護類型)介護福祉士国家試験100%合格(平成29年度100%、平成28年度100%)</li> <li>(子ども福祉・ボランティア類型)保育検定3級4種目100%合格(平成29年度76.9%)</li> <li>(両類型)介護職員初任者研修100%(平成28年度90.6%)、福祉ヘルプメイト80%以上(平成28年度68.4%)の資格取得に取り組み、福祉関連企業に就職希望者の60%以上就職する。(平成29年度53.3%、平成28年度62.5%)</li> </ul>

### 3 事業計画(事業名、事業概要)

#### 【高等学校課事業】

県版 SPH 事業 地域とつながる水産教育	海洋科、 食品・ビ ジネス科	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖合漁業体験、沿岸漁業体験、養殖漁業を学ぶ、地元水産物を学ぶ等の事業を実施。</li> <li>地元水産物をより美味しく食べる方法、食のみやこ鳥取県のうまさを売り込め等の事業を実施。</li> </ul>
県版 SPH 事業 学科間連携	全科	<ul style="list-style-type: none"> <li>各科の取組を科連携を通して、総合技術フェアで展示発表。</li> </ul>
県版 SPH 事業 マイコンカーの設計・製作・ラリー体験	機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイコンカーの設計、製作を通してものづくり技術力の向上を図る。</li> </ul>
県版 SPH 事業 福祉工学の研究	機械科	<ul style="list-style-type: none"> <li>養護学校児童・生徒のニーズに合致した作品を制作。</li> </ul>
県版 SPH 事業 公的施設の電気機器レスキュー隊	電気電子科	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的施設の電気機器コンセントの点検や清掃、配線のチェックなどを実施。</li> </ul>
県版 SPH 事業 高校生出前授業	電気電子科、 福祉科	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子電気科は中学校での「電気工事教室」、福祉科は公民館と連携し「夏休みこども講座」を実施し、専門教育を通して豊かな人間性を育成する。</li> </ul>
県版 SPH 事業	福祉科	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉の学習を通して学んだことを地域に還元</li> </ul>

なかよしフェスティバル		し、様々な世代・立場の方々とのふれあいを通してコミュニケーション能力を育成する。
土曜授業等実施事業	全科	・中野港漁村市、まぐろ感謝祭、販売実習シーサ、地域の子ども、福祉にかかわるイベント等に参加する。
社会人講師活用事業	全科	・各専門家を招聘し、講義、技術指導を実施。
介護職員初任者研修社会人講師活用事業	福祉科	・介護総合事例演習・事例検討に係る講義、技術指導等を実施。
介護福祉士養成研修社会人講師活用事業	福祉科	・介護福祉士養成のための医療的ケア授業の実施、介護技術向上のための研修、介護実習報告会への指導助言、介護福祉士のキャリアアップにかかわる講演等を実施。

【独自事業】

オーストラリア国際交流	海洋科	・海洋練習船「若鳥丸」による遠洋航海実習の一環として、オーストラリアのケアンズ港に入港した際に、TAFEカレッジとグレートバリアリーフインターナショナルマリンカレッジで地元生徒と交流を行う。
最新の製造技術を学ぶ	食品・ビジネス科	・最新の製造技術を学び、非常食、介護食等のレトルト食品実用化を図る。
地元企業に学ぶ	機械科、電気電子科	・身近な地元企業を知ること、早期に進路意識を芽生えさせ、学習意欲を喚起する。
熟練技術の技能講習	機械科	・機械科実習の熟練技術を持っている匠・プロからもものづくりを伝授。
相撲ロボットの製作	機械科	・加工技術を総合的に駆使して、ロボットを製作し、技術を習得する。
「介護福祉士」国家試験合格に向けた取組	福祉科	・皆生養護学校での講義、児童生徒との交流をとおして介護福祉への理解を深める。 ・筆記試験対策学習の強化を図る。
ネットワーク会議	海洋科、食品・ビジネス科、機械科、電気電子科	・専門学科と深く関わる企業から委員を委嘱し、年2回、学校の教育プログラム、最新技術等の助言をいただく中で、産業社会の情勢に迅速に対応した教育内容の改善を図る。